

特集 市制施行五周年

合併当時の日光

日光町が市制を施行して、新しい「日光市」としての歩み出しをしたのは昭和二十九年二月十一日。この時から五年の皇太子殿下の御成婚を、市民の皆様と共に、御慶び申し上げます。

あたかも時を同じくして、市制五周年の記念式典を開催出来た事は、我々一同この上もなき光栄であると思存します。

過ぎし五周年を顧みますに、日光町と小栗川村との合併問題が昇り、町村民の気運が昇る折、町村合併促進法が手伝つて二十九日二月十一日、めでたく日光市の誕生を見た訳であります。

以来、時と共に刻々変

才月を経て、今年には五周年に当る。あの五年前の市制施行の日の新聞があるから、抜き書きしてみよう。「華麗な人工の極

地と雄大な自然美が融合し「結構」の語源を生んだ日光は、明治以来遠年その真価を高め、しかも戦後は毎年米見客の記録と共、感謝申し上げる次第であります。

今後の日光の発展充実には、市民各位の深い御理解と御協力の基に、恵まれたる環境をプラスして、ますますその施設、整備に拍車をかけ、名実共に、世界の日光が到来すること願つて止みません。

幸に、今回日光市市民憲章も公布され、ますます市の明るい見通が樹立されて来たので

後援の御位にならぬに、外に市長として、市の重責を大過なく、まっとう出来ました事を楽し



電化も飛躍の拍車た

市制を施行して以来の五年間のあゆみは、書き出せばきりが無いが、別に小冊子「五周年のあゆみ」を発行したので、そちらにゆずるとして、ここでは当面の明るいニュース、電化のことについておこう。以下国鉄日光駅、石川助役の話

「この五年間、国鉄だけを見ても、いよいよ発展したものです。三十年三月のダイヤルカー野州号の運転開始、同年十月の快

を更新するすばらしい躍進をつづけ、世界各国からの観光客も増大の一途をたどっている。しかもこんど新たに隣接小栗川村を合併、本町村合併の第一号として、きよ十一日宿望の市制をする事になった。ほう大な国立公園を代表する日光の市制施行は、近い将来同公園地域内町村を合併、名実ともに世界的観光都市に飛躍する基礎を確立したものであり前途はまさに洋々たるものがある」と云へよう。(栃木新聞)

昭和三十四年の施策は？

予算編成方針にみる市政

では最後

にいったい今年度予算総額二億六千二百四十四万八千六百円ほどの百円ほどの様な方針で編成されたか？ 伸びゆく市政を知っていたか？ 意味を大要を列記してみよう。

○市民生活

安定の具体策○市民の負担軽減措置○自治運営の計画合理化○市内管理事務の改善刷新○国民健康保険事業の強化○失対事業の強化○生活困窮者の保護育成○保育所の増設○市営住宅の建設○広報活動の強化

○教育文化向上の具体策

○学校教育施設の整備改善

○学校教育振興○社会教育の振興○市民憲章の公布○公民館活動の強化

○環境衛生施設の整備改善

○エースホステル、

キヤンプ場の整備○観光資源の開発調査○商工業の経営合理化促進○都市計画の促進○新市建設計画の具現化○道路橋梁の整備○各種産業文化団体の一体性の確保等です。ますます伸びゆく市政に合致した、強力にして清新な市政を行ふべく市長始め職員一同日夜努力を以て行っている。(右写真真は市政施行当時の思い出、電化後に走る予定の電車、上の写真は秋の秋お別れする汽車の前で撮した。(日光駅員)

きょう日光の市制成る

世界的観光都市へ飛躍

市制施行

日光市の誕生

はく進を続けるわが日光市

す。今年の元旦にはいよいよ秋にお別れする汽車の前で全駅員で記念写真を撮りました。秋からは煙をくわく汽車は日光線から姿を消すので、

す。日光はどんどん発展して行くんですね……」

文化展

日光の生いたちから現在迄を史的に展示する。中には二社一寺より重要文化財も数点出品される予定、現在の文化的作品も数点陳列され、過去の日光と共に我々がいかなる歴史の中に立たされているかを究明する。

古河電工協賛展

古河電工より各種製品、製造過程の説明など市民として知ってもらいたいものを展示する。

趣味の切手展示会

日光趣味の切手会の会員が、それぞれ秘蔵の切手を展示する。古い切手、めずらしい切手、外国の切手等、普段あまり見られない切手を展示する。この機会に正しいコレクションを指導しようとするので、少年少女はもとより、その父兄達にも正しい理解を求めようとするので、切手を通じて知る、社会、美術、風俗、歴史等青少年の社会科としても大いに役立つ、有意義な展示会と思われ。

将来の日光展望

発展の一途をたどる日光は、将来どんなものになるだろうか？ その夢を、理想を、パノラマにより紹介する。このためパノラマをトラックで持ちこんで地形模型を作つたりした。

祝賀写真撮影会

日光市カメラクラブ連盟が主体とな

夜間照明

昨春秋、実験的に行つて好評を得た夜間照明を、五周年記念に行ふもので、四月十日から十七日の八日間、毎日午後七時から九時までの二時間、行われる。照明箇所は、昨年実験した場所、神橋付近、長坂、藤道上人、千人隊、五重塔、仁王門、二荒山、二ツ堂、大猷院等で行われる。

福引大売出し

市内の参加加盟店で(補示ポスター)百円買上げごとに福引補助券一枚を贈呈する。実施期間は四月十日から十七日までの八日間、抽選時間は午前八時半より、午後八時までで、十八日は午後五時まで開く。この福引は当選本数が一万五千本、総額二十七万四千四百二十六円にのぼる。抽選所は、国鉄駅前、東武駅前、西参道の各観光案内所、小栗川、清滝、中宮祠の各支所、出張所。

店頭装飾コンクール

四月十日から十七日まで、市内全域の商店を対象として「一般装飾」「陳列」「電飾」等について審査する。

花火打上げ

今回の記念式典には、次の日時に祝賀の花火を打上げる。

四月十日 午前九時から正午の間、皇太子殿下御成婚を祝して打ち上げる。

四月十二日 午前八時及び午後四時、大谷川鮎釣大会及び剣道大会を祝して。

四月十五日 午前九時より正午の間、市制五周年記念式典、市民憲章公布、自治功労者表彰祝賀のために、又午後二時より敬老会を祝して打ち上げる。

四月十六日 午後三時から六時までの間、赤生祭前夜祭、花屋台繰出しのための花火を打上げる。

婚及び市制五周年記念として行われ。植林の場所は山久保、大鹿入市有林で、二町二反五畝にわたつて、杉五千四百本、松千三百五十本、計六千七百五十本が植えられる。

計量器展示会

展覧会期間中公会堂に於て行われるが、特に「はかりと生活」をテーマとして、計量と云ふものが実生活と如何に密接な関係があるかを取り上げる。展示物は、県計量検定所及び日本計量協会より提供される。又、期間中、メートル法普及のためのクイズを場内に於て行い、最終日の十七日、当選者発表と賞品の授与を行ふ。

衛生展示会

伝染病予防と母子保健についての資料を展示する。又ガンその他についての標本を陳列して衛生思想の普及をはかる。